

小学校第3学年 音楽科学習指導案

学習指導者 坂出市立坂出小学校 教諭 櫻井 智子

1 単元名「ききどころを見つけて ～音色や旋律の変化を感じてお話をつくろう～」

(教材名 組曲「アルルの女」から メヌエット・ファランドール)

2 単元計画(総時数 時間【本時2/3】)

- 「メヌエット」を聴いて、音色、旋律、反復、変化などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、そこから男性が一目ぼれした女性の人物像や様子を想像する。(1時間)
- 「ファランドール」の「3人の王の行進」の部分聴いて、音色、旋律、などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、そこから王の人物像や様子を想像する。(1時間)
- 「ファランドール」全体を聴いて、音の重なりや変化を聴き取りながら、3人の王や家来、舞曲を踊る人々との交流の会話を想像し、お話をつくる。(1時間)

3 授業の見どころ

曲から感じ取ったことを、言葉や体の動きで表して伝え合う活動を行いながら、音楽の要素への気付きをねらう。教師の豊かな表情や問いかけによって児童の想像の幅を広げたり、語彙を補うためのワークシートや感じの言葉カードによって視覚支援を行ったりする。

4 本時の学習指導

(1)目標

曲に合わせて体を動かしながら王の人物像や様子を想像し、聴き取った音楽の要素と関連付けて、絵や言葉で説明することができる。

(2)学習指導過程

学習活動と児童の意識	教師の指導
1 常時活動のリコーダー練習「帰り道」を行う。 2 前時の振り返りをし、本時の学習課題を確認する。	○ タンギングの仕方やすラーへの意識によって、帰り道の情景が変わることを意識させる。 ○ 前時の「メヌエット」で見つけた音楽の要素と、想像した人物像や様子の関連を掲示しておく。
学習課題 「ファランドール」を聴いて、王様の様子を想像しよう。	
3 「ファランドール」の「3人の王の行進」の部分聴いて、自由に体を動かし、王の人物像や様子を想像する。 4 なぜそう想像したかを、音楽の要素と関連させて考える。 5 全体で交流する。 6 授業の振り返りをし、次時につなぐ。	○ 動きや言葉が出にくい場合は、教師が電子ピアノやタブレットで旋律の音色や速さを変えて比較させることで、原曲の特徴への気付きを促す。 ○ 教師が児童の動きのよさを取り上げ、大きさに再現したり、わざと合わない動きをして、児童に違和感を抱かせたりと、表現の幅を広げる支援をする。 ○ ワークシートに、言葉を選択する部分を設けたり、感じの言葉シートの使用を促したりすることで、感じていることを言葉にしにくい児童を支援する。 ○ クラゲチャートを用いることで、想像したことと音楽の要素との関わりを意識できるようにする。 ○ 曲の続きの部分聴かせ、王がこの後どうなるのだろうと、次時への期待を抱かせる。